

備前市事務事業評価表

事務事業名	体育施設管理運営事業（備前）		コード	担当課係	市民スポーツ課
			03-02-06-10	担当者	米田 昌子
事業実施期間			電話	63-3813	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	生きがいのあるまちづくり			
	小項目	スポーツ・レクリエーション			
	施策	スポーツの普及活動と指導者の養成・確保			

事業について	総合運動公園内スポーツ施設等を委託を中心に経費の節減を図りながら維持管理を行い、サービスの向上と快適な施設を提供する。また、地域の学校施設を機能的に活用し、学校体育施設開放事業を行い、地域住民のスポーツへの参加を促すとともに、個々のライフステージに応じた各種のスポーツ活動が出来るよう、環境を整備・充実させ、スポーツの振興を図ります。
目的	施設利用者。学校施設使用は、備前市内に在住・在勤・在学する者で構成され、成人の使用責任者のいる団体又は個人。
対象（誰のために）	施設利用者。学校施設使用は、備前市内に在住・在勤・在学する者で構成され、成人の使用責任者のいる団体又は個人。
内容	体育施設管理事務・体育施設維持管理・体育施設管理運営委託・温水プール監視運営・温水プール水泳教室・県体育施設協会負担金・学校体育施設開放

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など	回数など	回数など
体育施設利用者	279,572人		
学校体育施設利用者	104,328人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	132,579	国庫補助金等	0	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	6,233	受益者負担	54,519	人件費		受益者負担	
	合計	138,812	一般財源等	84,293	合計	0	一般財源等	0

結果指標①	結果指標名	体育施設利用者	
	結果指標量	279,572	
	単位	人	
	対前年比	—	
結果指標②	結果指標名	学校体育施設利用者	
	結果指標量	104,328	
	単位	人	
	対前年比	—	
事業費		8,552,227	円
単位当たりコスト②		82	円

事業の成果	17年度		
成果指標名	施設利用者	式又は説明	備前市内の体育施設・学校体育施設の年間延べ利用者
成果指標量	383,900		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	385,000	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：スポーツ振興法 第13条
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理・運営について経費節減につとめてきた。特に、温水プールについては、維持管理に多額の経費が必要である。平成18年から利用者の増加と民間活力のさらなる利用で経費等の削減に努める必要がある。また、指定管理者制度の導入をし民間活力を活用する。地域の既存施設を利用しスポーツ活動の拠点作りを推進し、受益者負担の原則と経費削減にも努めていく。	評価区分 <A~E> B
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	279,572	結果指標量②	104,328
目標値	385,000		

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性		民間活力を利用する。	平成18年度	指定管理者制度導入により、サービスの向上を高める。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。